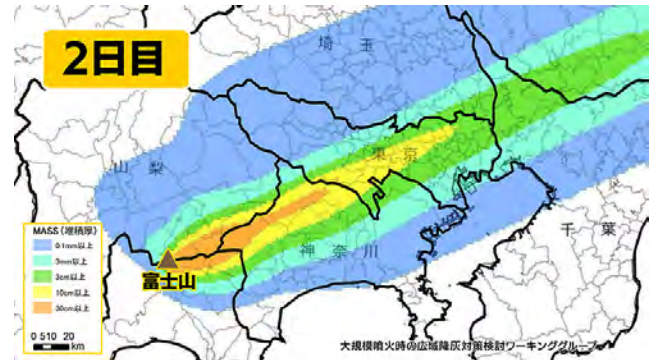
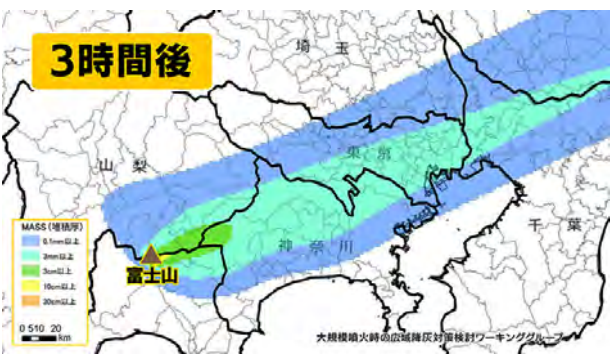
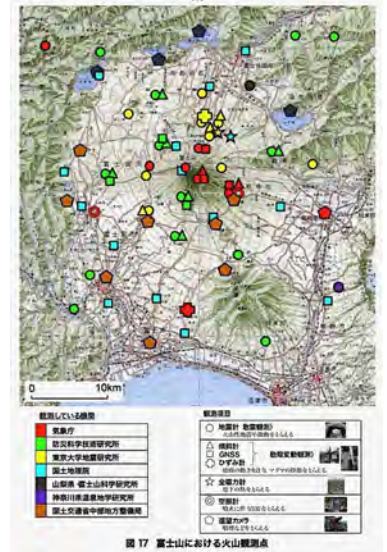


## 高周波地震発生地点



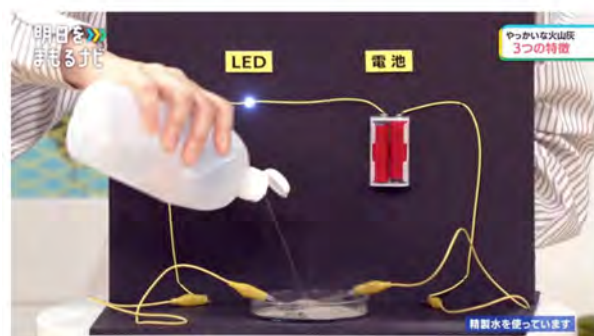
## 火山灰による生活への影響 NHK

道路に1mm	車が出せる速度 30キロ
道路に5cm	車が出せる速度 10キロ
道路に10cm	通行できず
レールに0.5mm	鉄道 運行停止

### 火山灰 3つの特徴

- ① 粒子が硬くとがっている
- ② 水を含むと電気を通す
- ③ 水を含むと固まる

**②水を含むと電気を通す**  
 火山灰は二酸化硫黄などの火山ガスを含んでいます。このガスが水に溶け込むと、ごく薄い硫酸などの液体になり、電気を通すようになります。



水を含んだ火山灰が電気を通す実験

**①粒子が硬くとがっている**  
 火山灰は、溶岩が爆発で細かい破片となったもの。紙や木を焼いた灰とは違い、ガラスや岩石で出来ています。ザラザラとした石の粉です。

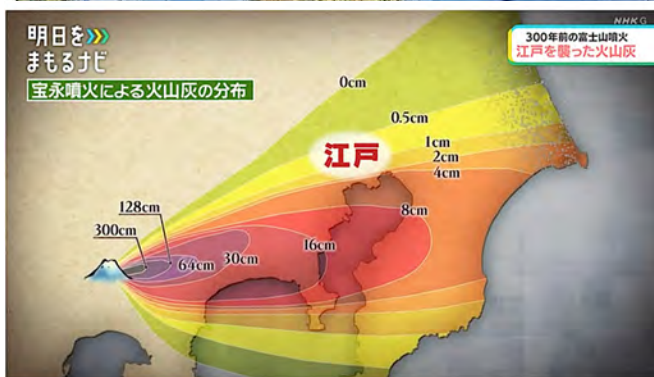
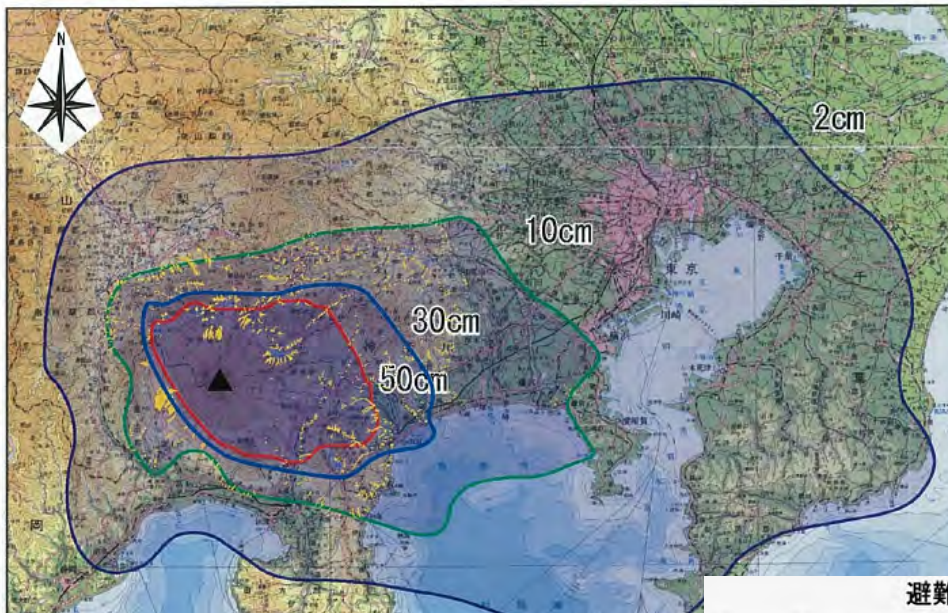


ザラザラとした感触の火山灰と顕微鏡写真

**③水を含むと固まる**  
 火山灰に含まれる石こう成分は、水にぬれると溶けだして接着剤の役割を果たし、乾燥するときにモルタル状に固まります。火山の噴火で細かな火山灰が噴出されると、大抵、その後雨が降る場合が多く、注意が必要です。

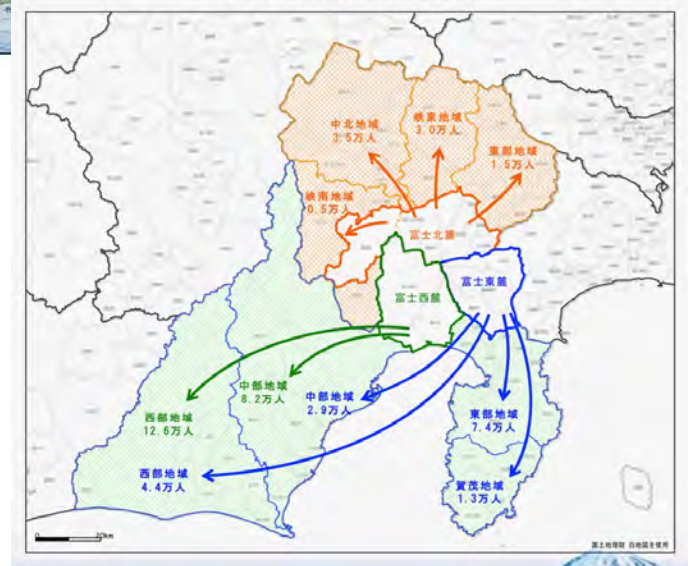


水を含むと固まる火山灰



宝永噴火による火山灰の分布図

避難対象者数と避難先



日頃から、マラソンの練習が大事です！！

## 富士山噴火時の溶岩流「3時間以内到達の地域」に11万6千人...別の方向に逃げるのが効果的

2022/03/31 06:53

この記事をスクラップする



富士山噴火時の避難計画を検討している静岡、山梨両県などの「富士山火山防災対策協議会」は30日、中間報告を公表した。昨年の富士山噴火の災害予測地図（ハザードマップ）改定で溶岩流が短時間で到達すると想定される範囲が広がったことを受けて、この地域の住民を混乱なく避難させるための方策が盛り込まれた。市街地では、車ではなく原則徒歩での避難を求める。



オンライン会議に参加する川勝知事（30日、静岡県庁で）

協議会の避難計画は、各自治体の防災計画の基礎となる。中間報告では、ハザードマップ改定で、3時間以内に溶岩流が到達する地域の推計人口が、これまでの約1万6000人から約11万6000人と約7倍に膨らんだことが明らかになった。このうち約8万1000人は、富士宮市や富士市、御殿場市、裾野市、小山町の県内5市町が占める。

また、多くの住民を遅滞なく避難させるための方法や基準が見直された。協議会の推計で、住民が一斉に車で避難した場合、市街地で深刻な渋滞が発生し、避難が間に合わない可能性があることが分かったためだ。徒歩の場合、噴火後に避難を開始しても間に合った。必ずしも遠くに避難する必要はなく、溶岩流が流

れる方向とは別の方向に逃げるのが効果的という。